

令和元年度 事業報告

- I 法人の概要
- II 実施した事業の概要
- III 財務の概要

学校法人高木学園

福岡県福岡市早良区百道浜三丁目 6 番 40 号

令和元年度 事業報告書

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

「生命の尊厳、生命の平等」を建学の精神とし、病める人も、障害を持つ人も、健常な人も、互いを認め合って暮らせる「共に生きる社会」の実現を目指す。医療福祉教育における各専門職の隔壁を外し、医療や福祉の専門職を目指す学生が共に学び、自らの専門に加え、常に自分の専門以外の幅広い知識や他人に対する優しい心を養うことが重要との考えの下、多彩な医療福祉専門職の育成とその地位向上を目的とする。

(2) 学校法人の沿革

学校法人高木学園は、福岡国際医療福祉大学・専門学校柳川リハビリテーション学院・大川看護福祉専門学校を有する学校法人である。（福岡国際医療福祉学院は2020年3月に閉校。）

特に、専門学校柳川リハビリテーション学院は、私学のリハビリテーションの養成校として、1990年に福岡県内で初めて誕生した伝統校である。

当法人は西日本のリハビリテーション医療をリードする優秀な人材を養成し続け、これまでに7,000名以上の卒業生を輩出してきた。

1990年4月	柳川リハビリテーション学院	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生省より理学療法士20名、作業療法士20名の養成施設として指定を受ける ・福岡県初の私学のリハビリテーション養成校として開校
	大川看護福祉専門学校	<ul style="list-style-type: none"> ・大川看護学院を開校 課程：看護婦科2年課程
1992年3月	大川看護福祉専門学校	<ul style="list-style-type: none"> ・大川看護専門学校に改称
1993年4月	柳川リハビリテーション学院	<ul style="list-style-type: none"> ・入学定員変更（理学療法・作業療法学科定員40名）（夜間部理学療法・作業療法学科定員20名）
1997年4月	柳川リハビリテーション学院	<ul style="list-style-type: none"> ・医療言語聴覚学科開設
1999年4月	柳川リハビリテーション学院	<ul style="list-style-type: none"> ・学科名変更（医療言語聴覚学科から言語聴覚学科）
2001年4月	大川看護福祉専門学校	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉学科（2年課程）を開設。学校名を大川看護福祉専門学校に改称
	福岡国際医療福祉学院	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省より理学療法士40名・作業療法士40名・言語聴覚士40名・視能訓練士40名の養成施設として指定を受ける ・福岡国際医療福祉学院を開校
2003年4月	福岡国際医療福祉学院	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省より理学療法士（夜間課程）40名・作業療法士（夜間課程）40名の養成施設として指定を受ける
2005年4月	大川看護福祉専門学校	<ul style="list-style-type: none"> ・看護学科（3年課程）を開設
2008年4月	福岡国際医療福祉学院	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市早良区に移転。看護学科開設
2019年4月	福岡国際医療福祉大学	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡国際医療福祉大学開学
2020年3月	福岡国際医療福祉学院	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡国際医療福祉学院閉校

(3) 設置する学校・学部・学科等

福岡国際医療福祉大学 (福岡県福岡市早良区百道浜三丁目 6-40)	医療学部 (4年課程)	理学療法学科
		作業療法学科
		視能訓練学科
		言語聴覚専攻科 (2年課程)
専門学校柳川リハビリテーション学院 (福岡県柳川市上宮永町 116-1)	理学療法学科 (3年課程)	
	作業療法学科 (3年課程)	
	言語聴覚学科 (3年課程)	
大川看護福祉専門学校 (福岡県大川市酒見 391-5)	看護学科 (3年課程)	
	介護福祉学科 (2年課程)	

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況

(令和2年5月1日現在)

学校名		入学定員	入学者数	収容定員	現員数	
福岡国際医療福祉大学	医療学部	理学療法学科	40	44	160	91
		作業療法学科	40	44	160	91
		視能訓練学科	40	46	160	85
	言語聴覚専攻科	40	26	80	47	
小計		160	160	560	314	
専門学校 柳川リハビリテーション学院	理学療法学科	40	42	120	102	
	作業療法学科	40	35	120	80	
	言語聴覚学科	40	34	120	65	
	小計	120	111	360	247	
大川看護福祉専門学校	看護学科	40	44	120	122	
	介護福祉学科	40	21	80	32	
	小計	80	65	200	154	
合計		360	336	1,120	715	

(5) 役員の概要 (令和2年5月1日現在)

理事 8名 (定数 5～8名)
 監事 2名 (定数 2名)
 評議員 17名 (定数 11～17名)

(6) 教職員の概要

(令和2年5月1日現在)

福岡国際医療福祉大学	教員	44名(教授20名、准教授6名、講師8名、助教10名)
	職員	34名
専門学校	教員	16名
柳川リハビリテーション学院	職員	12名
大川看護福祉専門学校	教員	12名
	職員	6名

2. 事業の概要

(1) 主な教育・研究の概要

● 福岡国際医療福祉大学

① 本学の特長を生かした教育の実施

本学は、保健、医療、福祉の分野において、高い知識と優れた技能、そして科学的・創造的探究心と豊かな人間性を備えた、時代のニーズや地域医療に貢献できる有為な専門職を養成することで、基本理念にある「共に生きる社会」の実現を目指すものである。

令和元年度は1学年のみの在籍であり、基本理念・教育目標を実現するため、調和のとれた人格形成に必要な教養科目を中心とした基礎的な指導をおこなった。

② 学生への支援活動体制

○アドバイザー制度を採用し、学生の学修や生活に関する相談や指導を実施した。

○単位取得が困難な学生のみならず、自主的に学修を希望する学生に対して個別指導やグループ学習による指導を実施した。

○学生の自治組織である学友会の設立をサポートし、令和元年10月の大学祭開催を実施した。

○本グループ医療機関で受診した場合の教育後援会による窓口一部負担金の補助を行った。

③ 教職員の資質向上のためのFD・SDの実施

福岡国際医療福祉大学FD委員会を設置している。SDについてもこの委員会での審議に基づき、取組みを展開することとしている。FD委員会は教務委員会と連携し、教育の質の向上を目指すものである。

○令和元年度のFD活動実績

・後期試験の実施にあたり国家試験形式での出題の留意点や、試験作成のポイントに関する説明会を実施した。

・2019年度コンプライアンス教育及び研究倫理教育について研修を実施した。

④ 国家試験等合格状況(別表1)

本学は1学年のみの在籍のため実績なし。

⑤ 就職状況(別表2)

本学は1学年のみの在籍のため実績なし。

⑥ 研究活動に係る外部資金獲得状況

令和元年度開学であるため、競争的資金は赴任した教員が前任研究機関において既に研究代表者として獲得していた経費を本学が引き継いだもの、及び他研究機関に代表者がいる研究分担者であるためその研究機関から分担金がきたものとなる。また、奨学寄付金1件についても前任研究機関から引き継いだものである。

【令和元年度実績】

(単位：千円)

項目	交付件数	交付金額
文部科学省科学研究費助成事業（代表者）	8	9,760
文部科学省科学研究費助成事業（分担者）	4	455
日本医療研究開発機構（AMED）	1	195
奨学寄附金受入	1	3,000
合計	14	13,410

⑦入学者選抜

○入学試験結果（2019年度実施）

学部学科等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
医療学部				
理学療法学科	40	260	76	44
作業療法学科	40	139	59	44
視能訓練学科	40	101	61	46
言語聴覚専攻科	40	27	27	26
計	160	527	223	160

○志願者確保の方策

進学情報誌・WEB媒体の積極的な活用に加え、会場型・高校内の進学ガイダンスに参加。高校内出張講義および大学見学会の受け入れ。北部九州（山口・福岡・長崎・大分）および鹿児島を強化エリアとし、九州・山口地区高校訪問を実施。参事・職員で年間2,400校を訪問。学内イベントとして、高校教員対象大学説明会2回開催、100校108名参加、オープンキャンパス6回開催、のべ1,060名参加。医療職の理解を深めることを目的としたSTセミナー・OTセミナー・ORTセミナーも開催。さらに、今年度新規企画として、一般入試前期地方試験実施都市（山口・長崎・大分・鹿児島）にて入試説明会を開催。

⑧学生によるボランティア活動や地域行事への参加

○ラブアース・クリーンアップ清掃活動

キャンパス周辺及びシーサイドもち海浜公園の清掃活動を実施した。

（令和元年6月23日 参加学生：20名）

○福岡山王病院保育所うんどう会ボランティア

福岡山王病院保育所の依頼を受け、同施設うんどう会の支援ボランティアとして運営補助を行った。（令和元年9月7日 参加学生数：7名）

○福岡マラソン2019ボランティア

福岡マラソン2019の支援ボランティアとして、大会運営の後方支援活動を行った。（令和元年11月10日 参加学生数：6名）

⑨地域との交流関係

○本学で開催された大学祭「新風祭～福岡を支える若い力～」を地域の方々へご案内し、多数の方に参加いただいた。（令和元年11月2日）

⑩社会的活動

○地域公開講座の実施（福岡国際医療福祉大学言語聴覚専攻科）

○作業療法士セミナー（福岡国際医療福祉大学医療学部作業療法学科）

○視能訓練士セミナー（福岡国際医療福祉大学医療学部視能訓練学科）

- 言語聴覚セミナー（福岡国際医療福祉大学言語聴覚専攻科）
- アジアリハビリテーションフォーラム（福岡国際医療福祉大学）

⑪自己点検評価の実施

福岡国際医療福祉大学自己点検・評価委員会を設置し、自己点検・評価委員会を実施した。今後は、年度ごとに学内に設けられている委員会や各学科の活動内容をまとめ、点検整備した上で、設置初年度（令和元年度）及び翌年度（令和2年度）の2年間の教育研究活動を総括し、令和3年5月に公表をする予定としている。

● 専門学校柳川リハビリテーション学院

①本学の長を生かした教育の実施

本学院は、多様化する医療・福祉の分野において、高い専門知識・技術および社会的スキルを教授し、あわせて豊かな心と自律性を育み、チーム医療ひいては社会に貢献し得る人材を育成することを目指している。

本学院は、柳川リハビリテーション病院等の近隣のグループ施設と連携しながら、3年間で即戦力となる臨床家を育成している。

②学生への支援活動体制

- 遠隔地の学生のために学生寮を保有している。
- 最寄り駅から本学院までスクールバスを運行している。
- 学生主催の学院祭やクラスマッチ開催を支援した。
- 単位取得が困難な学生のみならず、自主的に学修を希望する学生に対して個別指導やグループ学習による指導を実施している。
- 本グループ医療機関で受診した場合の教育後援会による窓口一部負担金の補助を行った。

③教職員の資質向上のためのFD・SDの実施

FD活動は、柳川リハビリテーション学院FD委員会を設置して取り組むこととしており、SDについても当委員会での審議に基づき、取り組みを展開することとしている。

○令和元年度のFD活動実績

- ・3学科合同関連職種連携演習を実施し、多職種理解を促した。
- ・外部講師を招き教職員対象キャリア支援講座を開催、キャリア支援に対する理解を深めた。

④国家試験等合格状況（別表1）

作業療法士ならびに言語聴覚士においては全国合格率を上回る結果となった。理学療法士の合格率は75.0%と全国合格率を下回る結果となった。この結果を踏まえ、各学科において国家試験に向けた教育および対策について継続して分析・検討を行い、きめ細かなサポート体制をとっていく。

⑤就職状況（別表2）

本学院ではすべての学科において100%の就職率を達成した。今後も学科教員による丁寧な個別指導はもとより、キャリア支援担当者のサポートを行うことで学生の長所を生かせる就職先へ導くことを目指す。

⑥入学者選抜

○入学試験結果（2019年度実施）

学部学科等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
理学療法学科	40	47	46	42
作業療法学科	40	38	38	35
言語聴覚学科	40	37	37	34
計	120	122	121	111

○志願者確保の方策

早期受験者獲得のために、オープンキャンパス連動型入試“エントリー制 A0 入試”の全面アピール。指定校の増枠及び定期的な高校訪問における九州全域からの受験者獲得。特待奨学生特別選抜入試(チャレンジ受験)の最適化(オープンキャンパス等での受験者・保護者へのアピール)。オープンキャンパスにおける満足度向上アプローチ(1対1面談・在校生支援等)。高校-業者-学院におけるリレーション型進学ガイダンスの展開学生寮の拡充による遠隔地出身者へのフォロー。パンフレット等の早期配布夏期オープンキャンパス動員のための交通広告・モール広告の展開。

⑦自己点検評価の実施

柳川リハビリテーション学院自己点検・評価委員会を設置しており、年度ごとに各学科の活動内容や学生募集状況等をまとめ、点検整備し、毎年5月に本学院ホームページ上で公表している。

● 大川看護福祉専門学校

①本学の特長を生かした教育の実施

本校は愛と誠実を全ての基として自主的精神を重んじ、“命の尊厳”“命の平等”を具現する感性豊かな人を育成することを教育理念とし、看護師、介護福祉士として必要な基礎的知識・技術・態度を習得し、温かな心と倫理観をもち、誇りをもって保健・医療・福祉に貢献できる人を育てることを目標としている。

令和元年度も教育理念・教育目標を実現するため、調和のとれた人格形成に必要な指導をおこなった。

②学生への支援活動体制

○専門のカウンセラー(臨床心理士)に相談できる、こころの相談室を開設している。

○チューター制度を採用し、学生の学修や生活に関する相談や指導を実施している。

○単位取得が困難な学生のみならず、自主的に学修を希望する学生に対して個別指導やグループ学習による指導を実施している。

○本グループ医療機関で受診した場合の教育後援会による窓口一部負担金の補助を行った。

③国家試験等合格状況(別表1)

看護師ならび介護福祉士において100%の合格率となった。今後も各学科において国家試験に向けた教育および対策について継続して分析・検討を行い、きめ細かなサポート体制をとっていく。

④就職状況(別表2)

本校では両学科において100%の就職率を達成した。今後も学科教員による丁寧な個別指導はもとより、キャリア支援担当者のサポートを行うことで学生の長所を生かせる就職先へ導くことを目指す。

⑤入学者選抜

○入学試験結果(2019年度実施)

学部学科等	入学定員	志願者数	合格者数	入学者数
看護学科	40	96	62	44
介護福祉学科	40	21	21	20
計	80	117	83	64

○志願者確保の方策

オープンキャンパス（学校説明会）を頻回に実施。また北部九州エリアを中心に参事による年間のべ1,000校の高校訪問を実施。業者主催の進学ガイダンスへの参加。高校教員対象の学校説明会の開催。進学情報誌、WEB媒体の積極的な活用。個別の学校見学受入れ、出前講座・学校見学会の告知・実施等。

⑥自己点検評価の実施

「自己点検・自己評価」を毎年5月までに実施し、本校HPに掲載し公開している。

(別表1) 国家試験等合格状況

学校名	資格名	本学合格率	全国合格率
専門学校 柳川リハビリテーション学院	理学療法士	75.0%	86.4%
	作業療法士	100.0%	87.3%
	言語聴覚士	77.3%	65.4%
大川看護福祉専門学校	看護師	94.9%	89.2%
	介護福祉士	100.0%	69.9%
福岡国際医療福祉学院	理学療法士	90.9%	86.4%
	作業療法士	100.0%	87.3%
	視能訓練士	100.0%	96.1%
	看護師	89.5%	89.2%

※ 本学合格率は、令和2年3月卒業生の合格率

(別表2) 就職状況

学校名	学科	卒業生数	就職希望者数	就職者数	就職率
専門学校 柳川リハビリテーション学院	理学療法学科	28	21	21 (3)	100.0%
	作業療法学科	16	16	16 (1)	100.0%
	言語聴覚学科	22	17	17 (2)	100.0%
大川看護福祉専門学校	看護学科	39	37	37 (19)	100.0%
	介護福祉学科	8	8	8 (7)	100.0%
福岡国際医療福祉学院	理学療法学科	22	20	19 (3)	95.0%
	作業療法学科	10	10	10 (0)	100.0%
	視機能療法学科	19	19	19 (0)	100.0%
	看護学科	38	34	34 (14)	100.0%

※就職率は、就職希望者に対する就職決定率の割合

※就職決定者数欄の（ ）内はグループ関連施設に就職した人数

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：百万円)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
固定資産	11,161	8,381	7,020	7,326	7,298
流動資産	2,832	2,077	2,404	3,134	3,036
資産の部合計	13,993	10,458	9,424	10,461	10,334
固定負債	5,843	1,569	39	37	43
流動負債	847	579	601	871	1,021
負債の部合計	6,691	2,148	640	908	1,064
基本金	6,943	8,355	8,615	8,616	8,916
繰越収支差額	360	△ 45	169	937	353
純資産の部合計	7,302	8,310	8,784	9,553	9,270
負債及び純資産の部合計	13,993	10,458	9,424	10,461	10,334

イ) 財務比率の経年比較

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
運用資産余裕比率	190.8%	153.3%	189.9%	270.5%	228.7%
流動比率	334.1%	359.0%	399.7%	359.9%	297.4%
総負債比率	47.8%	20.5%	6.8%	8.7%	10.3%
前受金保有率	592.7%	488.5%	528.8%	561.6%	408.6%
基本金比率	62.3%	100.0%	100.0%	100.0%	99.6%

② 資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：百万円)

収入の部	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
学生生徒等納付金収入	1,294	1,177	1,018	640	727
手数料収入	24	19	10	17	22
寄付金収入	71	263	422	1,100	224
補助金収入	40	37	37	37	37
資産売却収入	0	3,321	0	0	0
付随事業・収益事業収入	2	3	4	23	14
受取利息・配当金収入	1	0	0	0	0
雑収入	257	207	152	76	48
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	446	396	433	540	717
その他の収入	2,187	2,507	1,433	418	463
資金収入調整勘定	△ 591	△ 486	△ 437	△ 450	△ 578
前年度繰越支払資金	2,601	2,639	1,932	2,200	3,031
収入の部合計	6,331	10,081	5,005	4,602	4,704

支出の部	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
人件費支出	599	567	572	493	689
教育研究経費支出	179	183	177	158	197
管理経費支出	278	290	285	500	260
借入金等利息支出	123	37	0	0	0
借入金等返済支出	295	4,410	0	0	0
施設関係支出	1	0	6	0	13
設備関係支出	22	18	7	196	161
資産運用支出	0	0	290	25	4
その他の支出	2,300	2,718	1,453	368	594
資金支出調整勘定	△ 106	△ 74	△ 76	△ 169	△ 142
翌年度繰越支払資金	2,639	1,932	2,290	3,031	2,929
支出の部合計	6,331	10,081	5,005	4,602	4,704

イ)活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：百万円)

科目	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	1,677	1,696	1,624	1,867	1,053
教育活動資金支出計	1,056	1,040	1,034	1,006	1,146
差引	621	656	590	861	△ 93
調整勘定等	△ 100	△ 62	21	222	140
教育活動資金収支差額	521	594	611	1,083	47
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	0	3,321	11	0	0
施設整備等活動資金支出計	23	18	13	196	174
差引	△ 23	3,303	△ 2	△ 196	△ 173
調整勘定等	△ 9	△ 4	0	0	0
施設整備等活動資金収支差額	△ 32	3,299	△ 2	△ 196	△ 173
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	489	3,894	608	887	△ 127
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	2,150	2,471	1,399	407	444
その他の活動資金支出計	2,601	7,071	1,667	463	422
差引	△ 451	△ 4,600	△ 268	△ 56	22
調整勘定等	△ 1	0	17	△ 1	4
その他の活動資金収支差額	△ 452	△ 4,600	△ 251	△ 56	25
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	37	△ 706	358	831	△ 102
前年度繰越支払資金	2,601	2,639	1,932	2,200	3,031
翌年度繰越支払資金	2,639	1,932	2,290	3,031	2,929

ウ)財務比率の経年比較

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
教育活動資金収支差額比率	31.1%	35.0%	37.6%	58.0%	4.4%

③事業活動収支計算書関係

ア)事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：百万円)

科目		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	1,294	1,177	1,018	640	727
	手数料	24	19	10	17	22
	寄付金	71	263	411	1,100	224
	経常費等補助金	40	37	37	37	37
	付随事業収入	2	3	4	2	2
	雑収入	257	207	152	76	48
	教育活動収入計	1,688	1,705	1,632	1,873	1,059
	事業活動支出の部					
	人件費	606	566	577	492	695
	教育研究経費	303	300	282	258	322
	管理経費	302	314	309	375	283
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	1,211	1,180	1,169	1,124	1,299
教育活動収支差額	477	525	463	748	△ 240	
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	1	0	0	0	0
	その他の教育活動外収入	0	0	0	21	12
	教育活動外収入計	1	0	0	21	12
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	123	37	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	123	37	0	0	0
教育活動外収支差額	△ 123	△ 37	0	21	12	
経常収支差額	354	489	463	770	△ 228	
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	0	521	0	0	0
	その他の特別収入	0	0	11	0	2
	特別収入計	0	521	11	0	2
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	1	2	0	1	0
	その他の特別支出	0	0	0	0	57
	特別支出計	1	2	0	1	57
特別収支差額	△ 1	519	10	△ 1	△ 55	

基本金組入前当年度収支差額	353	1,008	473	769	△ 283
基本金組入額合計	△ 316	△ 1,418	△ 301	△ 2	△ 301
当年度収支差額	37	△ 410	172	767	△ 584
前年度繰越収支差額	318	360	△ 45	169	937
基本金取崩額	5	6	41	1	0
翌年度繰越収支差額	360	△ 45	169	937	353
(参考)					
事業活動収入計	1,688	2,226	1,643	1,894	1,073
事業活動支出計	1,335	1,218	1,169	1,125	1,356

イ)財務比率の経年比較

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
人件費率	35.9%	33.2%	35.1%	26.0%	64.7%
教育研究経費比率	18.0%	17.6%	17.3%	13.5%	30.0%
管理経費比率	17.9%	18.4%	19.0%	19.8%	26.4%
学生生徒等納付金比率	76.6%	69.0%	61.9%	33.7%	67.6%

※H30年度より寄付行為上の収益事業を収益事業会計として学校法人会計より分離

(2)その他

①補助金の状況

(単位：百万円)

内容	施設	金額
福岡県看護師等養成所運営費補助金	福岡国際医療福祉学院	17
福岡県看護師等養成所運営費補助金	大川看護福祉専門学校	19
合計		37

②収益事業の状況

福岡市中央区長浜において遊休地を駐車場としており、その状況は次のとおりである。

貸借対照表

(単位：百万円)

	H30年度	R1年度
資産の部		
流動資産	255	261
固定資産	10	7
資産の部合計	265	268
負債の部		
流動負債	2	0
負債の部合計	2	0
純資産の部		
元入金	263	268
純資産の部合計	263	268
負債及び純資産の部合計	265	268

損益計算書

(単位：百万円)

科目	H30年度	R1年度
売上高	76	33
経費	49	14
経常利益	27	20
学校法人繰入支出	21	12
税引前当期利益	6	7
法人税等	6	7
当期純利益	0	0

③学校法人間財務取引

(単位：百万円)

学校法人	取引内容	金額
(学)国際医療福祉大学	福岡国際医療福祉大学 ももち国際ホール 賃貸料	6
(学)国際医療福祉大学	福岡国際医療福祉大学 ももちアスリーナ 賃貸料	10

(3)経営状況の分析

①決算の概要

当期の事業活動計算書ベースでの学生納付金収入は、福岡国際医療福祉大学が開学したこと、柳川リハビリテーション学院が学生数の増加で前期比増加したものの、福岡国際医療福祉学院が学生募集の停止で学生数が減少した事で、法人全体で前期比 87 百万円増加の 727 百万円となった。学生納付金を含めた教育活動収入は 1,059 百万円となった。

当期の教育活動における支出は、福岡国際医療福祉大学の開学により人件費、教育研究経費が前期比増加したものの、管理経費が前期に福岡国際医療福祉大学の開設準備として建物の修繕や広報費が発生していたため前期比で減少し、法人全体では前期比 176 百万円増の 1,300 百万円となった。

上記により、当期の経常収支差額は△241 百万円となった。

しかしながら、当期末における純資産の残高は 9,270 百万円であり、財務内容は引続き健全な状態にある。

②来期以降の見込み

来期の学生納付金収入は、福岡国際医療福祉大学が学年進行等により学生数が増加するものの、福岡国際医療福祉学院が閉校となるため、約 60 百万円程度の増加を見込んでいる。

来期以降については、令和 4 年度まで福岡国際医療福祉大学が学年進行で学生増加が見込まれること、また、令和 5 年度から私立学校経常経費補助金の受給対象となるため、収支は年度進行とともに大幅に改善をしていく見込みである。